

高速増殖原型炉もんじゅの耐震裕度向上工事等の実施について
(お知らせ)

高速増殖原型炉もんじゅ（定格出力 28.0 万 kW）は、耐震裕度向上工事及び新潟県中越沖地震対応工事等について、以下の内容を追加し実施することとしました。また、変更認可申請について、燃料交換に係る手続きを実施することとし、上記工事等の実施と併せ、平成 21 年度の高速増殖原型炉もんじゅ保守運営計画（平成 21 年 4 月 17 日お知らせ済み）の変更を行い、安全協定に基づき地元自治体に報告しましたので、お知らせいたします。

1. 耐震裕度向上工事について

地震時における既設設備の信頼性を一層向上させるため、以下の工事を行います。

(1) 排気筒支持構造の改良工事（平成 21 年 6 月～平成 21 年 11 月の予定）

原子炉補助建物屋上に設置している排気筒について、地震時の揺れを抑制するため、排気筒支持構造鉄塔頭部に制震装置（オイルダンパー）を取り付け、耐震安全性を向上させる工事を実施します。

(2) 取水口潮位計信頼性の向上（平成 21 年 7 月～平成 21 年 12 月の予定）

地震時に停電した場合でも、地震に伴う津波による潮位変動を確実に監視できるように電源を無停電電源化した潮位計を新たに 2 個設置し、運転員が中央制御室において、海水ポンプの取水潮位を把握できるようにします。

2. 新潟県中越沖地震対応工事について（平成21年7月～平成21年12月の予定）

新潟県中越沖地震を踏まえ、地震時における消火設備の信頼性を向上させるため、消火水源として消火用水槽と防火用水槽を兼ねた水槽 1 基（250m³）及び防火用水槽 1 基（20m³）の合計 2 基を設置します。また、消火器の転倒防止対策や大型消火器の設置も併せて実施します。

3. 変更認可申請について

プラント確認試験に伴い、初装荷燃料Ⅱ型 7 8 体、Ⅲ型 6 体を交換します。また、ブランケット燃料の健全性確認を行うため、ブランケット燃料 3 体を交換します。これらに係る手続きとして、「炉心の設計及び工事の方法の変更に係る認可申請」及び「炉心の工事計画の変更認可申請」を行います。

添付資料：・排気筒支持構造の改良工事
・取水口潮位計信頼性の向上
・消火用水槽の設置

以上

排気筒支持構造の改良工事



工事の概要

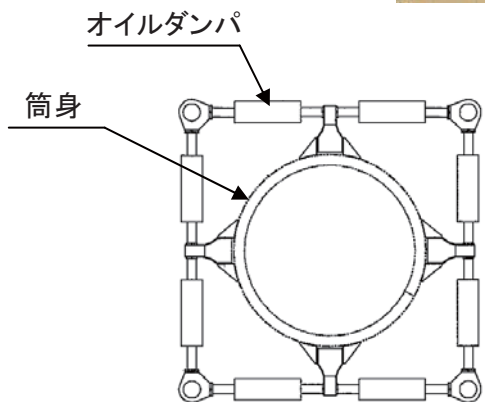
地震時に排気筒の揺れを抑制する為、排気筒支持鉄塔頭部に制震装置(*)を取付け、排気筒の耐震安全性を向上させる。

排気筒の仕様

鉄塔支持型

筒身内径：約4 m

筒身全高：約100m



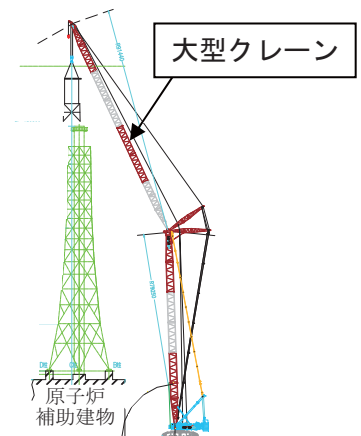
制震装置の設置概要図

(*) 制震装置：地震時の揺れを抑制する装置。今回はオイルダンパを採用し、排気筒支持鉄塔頭部の支持枠をオイルダンパの付いた支持枠と交換する。また、5箇所ある支持点のうち2箇所に関しては、支持点の拘束を開放して筒身にかかる力を分散させる。

大型クレーンを用いて、工事に必要な資材、制震装置等を吊り上げる。この大型クレーンを設置するためには、樹木や水銀灯の撤去等が必要なことから、この準備作業を6月上旬から開始する。

工事予定期間

平成21年6月～平成21年11月

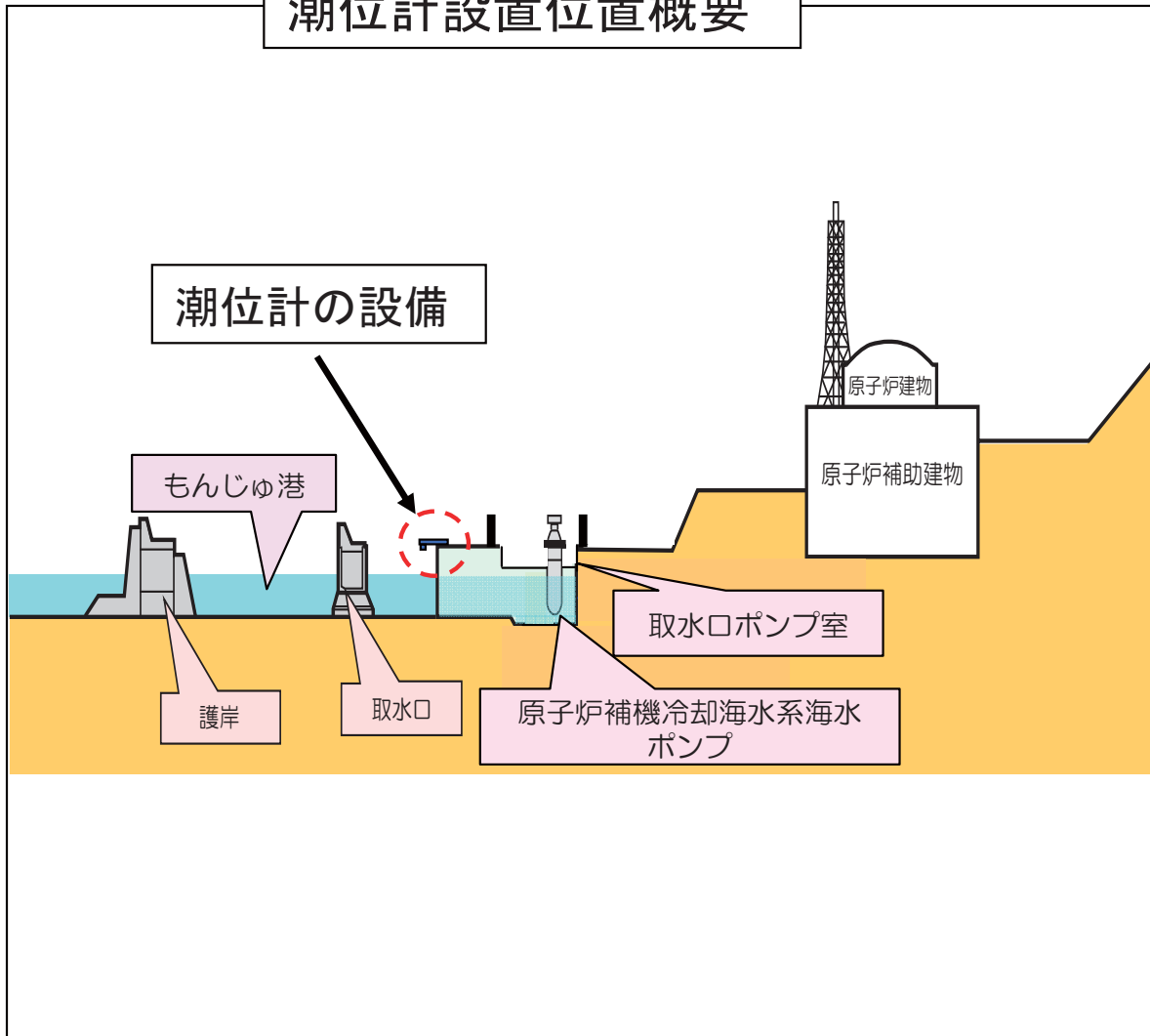


工事イメージ図

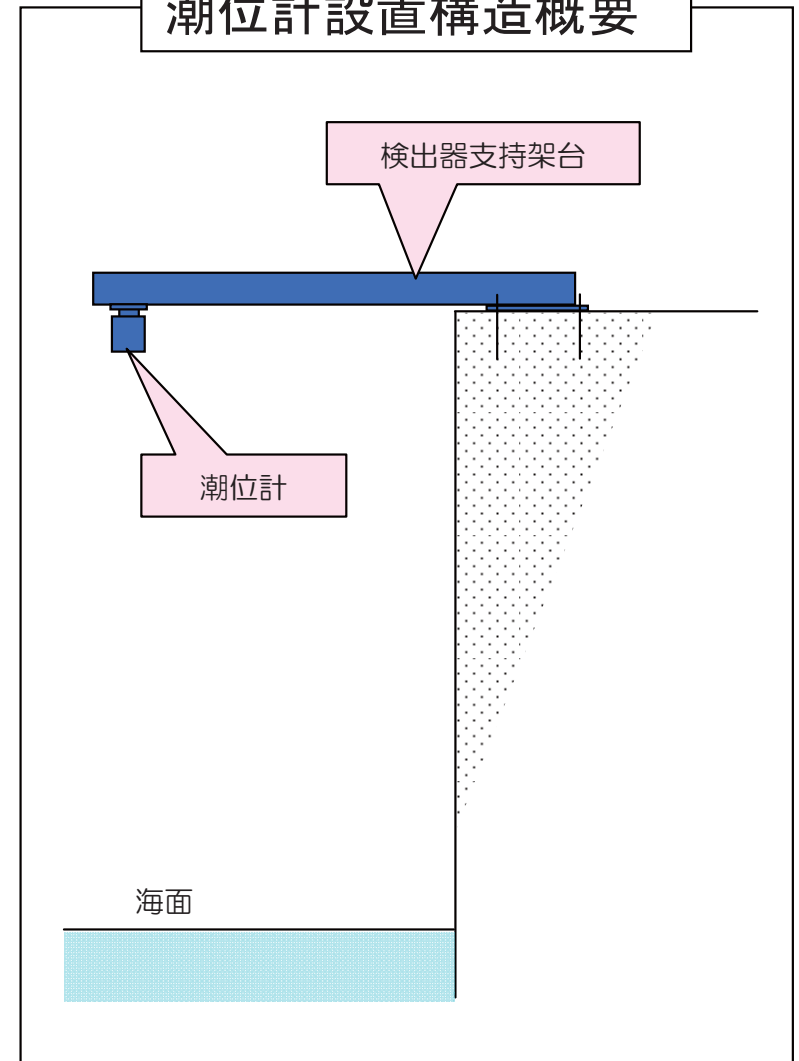
取水口潮位計信頼性の向上

概要: 地震時に停電した場合でも、地震に伴う津波による潮位変動を確実に監視できるよう電源を無停電電源化した潮位計を設置し、運転員が中央制御室において、海水ポンプの取水潮位を把握できるようにします。

潮位計設置位置概要



潮位計設置構造概要



消火用水槽の設置

概要：消火水源として消火用水槽と防火用水槽を兼ねた水槽1基(250m³)及び防火用水槽1基(20m³)の合計2基を設置します。

